

空の池ハザードマップ ～ 災害の未然防止のために ～

ハザードマップについて



写真：空の池（左岸より撮影）

このハザードマップの目的

近年の集中豪雨により、ため池災害が発生しており、また災害に至らなくても非常に危険な状態になり、下流域の住民が避難を余儀なくされる事態が発生しています。この様なことから、大雨によりため池が決壊するといった最悪の事態を想定し、決壊による浸水被害想定と避難対策等の情報をわかりやすく住民の皆さんに提供することを目的に作成したものです。



写真：過去の決壊事例



チェック

日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家から避難場所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。

チェック

このハザードマップを目につく場所において、いつでも確認できるようにしておきましょう。

チェック

浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し、危険を感じたら自主的避難を心がけましょう。

チェック

みなさんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身に着けておくことが大切です。

わが家の防災メモ ～ 家族で話し合って書き込みましょう ～

わが家の避難場所：					非常持ち出し品チェックリスト				
家族の集合場所：					<input type="checkbox"/> 懐中電灯（ <input type="checkbox"/> 電池）				
緊急時の連絡先：					<input type="checkbox"/> ろうそく（ <input type="checkbox"/> マッチ）				
家族の氏名	生年月日	血液型	既往症	携帯電話/会社・学校の連絡先	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ（ <input type="checkbox"/> 電池）				
					<input type="checkbox"/> 水				
					<input type="checkbox"/> 食料品（ <input type="checkbox"/> 缶きり等）				
					<input type="checkbox"/> 医薬品				
					<input type="checkbox"/> 現金・貴重品				
					<input type="checkbox"/> 衣類（雨カップ・下着類）				

メモ

雨の具合で危険度をチェックしましょう

やや強い雨
（1時間に10～20mm）
地面からの跳ね返りで足下がぬれる。
雨の音で話がよく聞き取れない。



強い雨
（1時間に20～30mm）
地面一面に水たまりができる。
側溝・下水・小さな川があふれ、小規模の崖くずれが始まる。



激しい雨
（1時間に30～50mm）
バケツをひっくりかえしたようにふる。
山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。



非常に激しい雨
（1時間に50～80mm）
滝のようにふる。
都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。
土石流などの多くの災害が発生する。



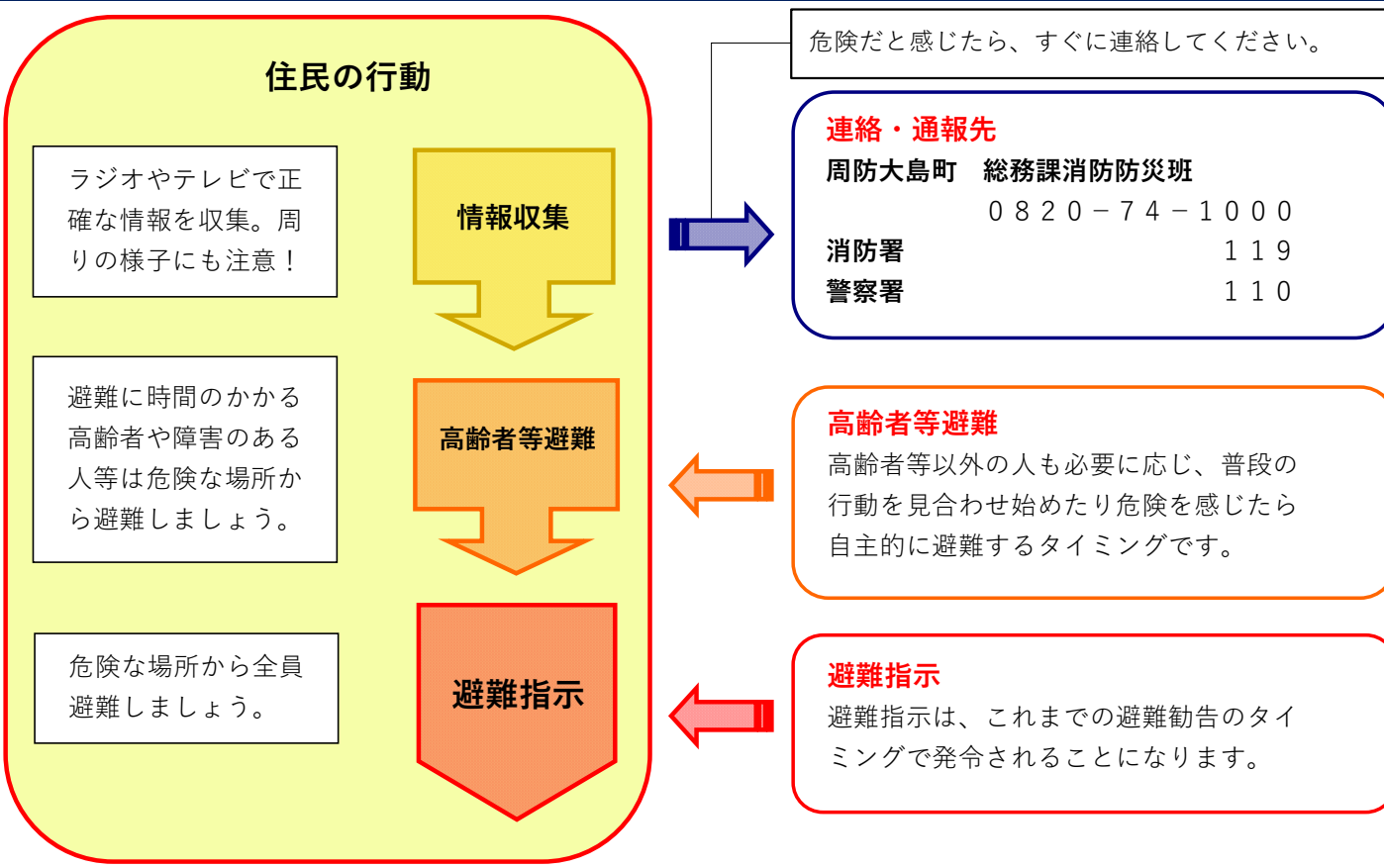
猛烈な雨
（1時間に80mm以上）
息苦しくなるような圧迫感がある。
恐怖を感じる。
雨による大規模な災害の発生するおそれが強く厳重な警戒が必要。



危険を感じたら
すぐに避難を！



さあ避難！ そのときに…



ため池ハザードマップに関する問い合わせ先

周防大島町 産業建設環境部施設整備課 ☎ 0820-79-1005
山口県大島郡周防大島町大字久賀5134